

# ごあいさつ

皆様方には、平素から交通安全活動に深い御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。  
平成29年中の富士市内における人身交通事故は、

- 発生件数            2,034 件（前年比 - 91 件）
- 死者数              6 人（前年比 + 2 人）
- 負傷者数           2,649 人（前年比 - 141 人）

であり、発生件数及び負傷者数は減少したものの、死者数については、現在の手法で統計を取り始めた昭和41年以降過去最小であった前年（平成28年）と比較すると、残念ながら増加いたしました。過去10年を見ましても、これに次ぐ状況でありました。

これは、市民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚や関係各機関、団体が一丸となって各種交通安全活動を展開した結果であると感謝しております。

他方、全国的にも悪質・危険な煽り運転や高齢運転者による重大事故が社会問題の1つとして大きく取り上げられていますが、これらは富士市内においても例外ではなく、死亡ひき逃げ事件や、煽り運転による交通事故が発生するなど、交通情勢を取り巻く環境は決して楽観視できるものではないとも言えます。

こうしたなか、平成32年度までの第10次富士市交通安全計画に策定された交通安全対策を考える視点である

- (1) 高齢者及び子どもの安全確保
- (2) 歩行者及び自転車の安全確保
- (3) 生活道路及び幹線道路における安全確保
- (4) 市民自らの意識改革

を中心に、今後も高齢者や歩行者等の交通弱者を中心とした交通安全施策を推進するとともに、道路を利用する全ての人が交通ルールを守り「おもいやり ありがとう」の理念の下、「交通事故総量削減」と「安全なまちづくり」のために取組んでいくことが重要ですので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様には本書を活用し、富士市の交通事故の実態を理解していただき、一人ひとりが交通事故の「加害者にも、被害者にもならない」よう交通安全意識の高揚に努めていただければ幸いです。

平成 30 年 3 月 吉日

富 士 警 察 署 長  
交通安全協会富士地区支部長  
富士地区安全運転管理協会長

# 目次

## 第1 全国・静岡県下の 交通事故

- 1 発生状況 ..... 1
- 2 都道府県別ワースト順位
  - (1) 発生件数
  - (2) 死者数
- 3 県下各署・隊別

## 第2 富士市の交通事故

- 1 発生状況 ..... 2
- 2 過去10年間の推移
- 3 月別
- 4 時間別
- 5 曜日別
- 6 交番・駐在所別
- 7 事故類型別 ..... 3
- 8 違反別
- 9 事故起因者の車種別
- 10 路線別 ..... 4

## 第3 各種事故

- 1 死亡事故 ..... 5
- 2 歩行者事故 ..... 7
- 3 自転車事故 ..... 8
- 4 二輪車事故 ..... 9
- 5 幼児事故 ..... 10
- 6 小学生事故 ..... 11
- 7 中学生事故 ..... 12
- 8 高校生事故 ..... 13
- 9 高齢者事故 ..... 14
- 10 若者起因事故 ..... 15
- 11 高齢者ドライバー事故 ..... 16
- 12 交差点事故 ..... 17
- 13 飲酒運転事故 ..... 18

## 第4 参考資料

- 1 人口・車両保有台数等 ..... 19
- 2 交通安全関係団体・組織
- 3 安全運転管理協会からのお知らせ ..... 20
- 4 富士市からのお知らせ ..... 21
- 5 交通安全協会からのお知らせ ..... 22
- 巻末綴込 ..... 2017 交通事故危険マップ

## 凡例

この統計表に用いている主な用語の意味は次のとおりです。

- 「交通事故」 ..... 道路上において、車両・列車の交通によって起こされた死亡又は負傷を伴った事故（人身事故）をいう。
- 「死亡」 ..... 交通事故の発生後24時間以内に死亡したものをいう。
- 「当事者」 ..... けがの有無にかかわらず事故にかかわった者をいう。